



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 22 年 6 月 12 日(土)

手織り公開講座 編

昨年は染色の指導を秋元ルミ子先生より受け、杉染めを始めましたが、好奇心旺盛なすみれ会は、そのご縁で手織りの川村郁子先生を紹介していただき、「インストラクターコース」を受講することになりました。修行を積み、いつか子どもたちや高齢者の支援に…。そして、すみれ会の収益のために製品化をめざし、4 人のメンバーが挑戦することになりました。

織り機を各人が購入し、1 月にお手本を見せていただき、4 月の第 4 土曜日からスタート。川村先生にはその都度、横浜からご指導においでいただいております。

50 歳を過ぎての手習いは、目は見えないし、覚えは悪い。毎回、汗だくの 3 時間半を過ごしておりますが、曲がりなりにも自分の作品ができると嬉しいもので、互いに励まし合っていた矢先。6 月 12・13 日(土・日)に能代市文化会館中ホールで「アトリエ工房展」が開催され、その際に会場の真ん中で手織りの公開講座をするという企画が持ち上がりました。

そんな恥ずかしいことはできないと言ってみたもののすげなく却下。結局、みなさんに見られている中でいつものようにお勉強をすることになりました。とても辛い！けど、そんなことを言っていられない余裕のない状況！その上、この日の題材は「あったかマフラー」。汗をだらだら流しながら、顔で笑って心で泣いての 3 時間半でした。でも、みんなの写真は充実感たっぷり(*^_^*)。

早く、立派な「手織り姫？」になりたいな～～(^_^)♪

文： 能登 祐子



いつものように先生のご指導をいただきながら広い中ホールでの公開講座。



周りの視線も気になりますが、それどころではありません。織姫になるのは大変です。



この日は染色はじめ、いろいろな作品も展示されていて勉強になりました。



ようやく緊張から開放されての記念撮影。みなさん、お疲れ様でした。